

2021年6月16日

写) 登録販売店 各位

需要者 各位

千葉西部生コンクリート協同組合



暑中期における生コンクリートの出荷について

近年の地球温暖化により、千葉県下においても最高気温が 30℃以上の真夏日が多くなってきており、コンクリート温度はこれらの影響と運搬時の直射日光やセメントの水和反応により上昇して、現場荷卸し時には 35℃を超える可能性が生じています。

当西部協組加盟工場では社内規格を見直し、荷卸し時のコンクリート温度を 38℃以下として JIS 登録認証機関の認証を受けて JIS 製品として出荷する体制を整えています。

しかしながら現場受入れ検査基準が 35℃以下であれば納入生コンクリートが 35℃を超えて 38℃内の JIS 適合品で有っても受入れを拒否される事になります。

この結果から現場様にご迷惑をお掛けする事態になる可能性が有りますので暑中期間は以下の示す、1.~3.の内容にて対応させていただきますので宜しくお願い申し上げます。

1. 納入温度 35℃以下を指定されて、納入予定日に 35℃を超えると予想される場合には出荷をご辞退させていただきます。
2. 上記 1.の条件ながら、どうしても納入を希望され、現場受入れ検査において、コンクリート温度のみ不適合で持ち帰りを指示された場合には「戻りコンクリートの契約取消しコン」として扱い、商品代相当額と取消料をご負担頂きます。
3. コンクリート温度を低下させる為の追加対策を希望される場合には、この対応可否を含め協議することとし、これに係る費用のご負担お願いいたします。又これらの対策を講じてもコンクリート温度 35℃以下を保証するものではありません。

注) 国土交通省大臣認定品の温度規定値は認定取得時の値を変更する事はできません。

需要家様には近年の環境変化を考慮してコンクリート温度について適切な判断をして頂き、登録販売店へご指示を頂きますように宜しくお願い申し上げます。

以上

参考資料:第 21 回(2021 年)生コン技術大会研究発表会論文集

「20℃及び 38℃環境下におけるスランプ経時変化および凝結特性の比較に基づく暑中コンクリートのフレッシュ性状推定評価」